

滑り出し好調 県下の 高齡者事業団

会員数、事業量とも当初目標を達成

昨年10月20日、県下で初めて誕生した高齡者事業団富士市シルバー人材センターが、発足わずか2カ月で早くも当初予想を上まわる実績を挙げ、快調な滑り出しを見せています。

高齡者の生きがい対策としてスタートしたこの事業団—確実に高齡化社会の進む中であって予想外に関心が高く、会員数も発足当初264人だったのが、昨年末現在すでに302人（男199人、女103人）に達しています。

事業実績も発足時から12月末まで約2カ月間の累計は、仕事を受けたもの103件（公共事業13件、民間事業90件）これに対して、173人が延1,292日間働いています。また、契約金額も総額436万円余に達し、材料購入費等を差引いた408万円余りが配分金（賃金）として会員に支払われています。

まだ欲しい 仕事の量と種類

事業団では、将来、軌道に乗れば会員数300人、月間契約金額200万円

は確保できると予想していたが、発足2カ月余で早くもこの目標を達成し、昨年12月中の契約金額は230万2818円に達しました。

しかし、職種別、男女別の就業状況を見るとまだまだ片寄りがあり、事業団では「就業率を延ばすことも必要だが、いろいろな仕事を平均してやっていきたい。

高齡者に向く仕事ならどんな種類の仕事でもよいからもっと出していきたい」と市民のみなさんのご理解とご協力を呼びかけています。

—こんなとき、事業団 がお役に立ちます—

◎新たに人を雇うほどではないが、きまった期間内に一定の仕事进行处理しなければならぬとき……



〔豊かな経験を生かして〕

- ◎急に臨時の仕事ができて、高齡者に向いていると考えられるとき……
- ◎だれかに留守や子守りを頼んで他の用事を済ませたいとき……

—事業団の会員となるには—

◎ほぼ60歳以上の健康な高齡者ならどなたでも入会できます。

申込み 問合せは
社団法人 高齡者事業団
富士市シルバー人材センター
☎ 53-1150 （職業安定所前）

グループ訪問 36

ポピュラーからクラシックまで 富士交響吹奏楽団

市内の高校を卒業した吹奏楽愛好者が中心となり、昭和47年に結成。県内でも有数の吹奏楽団である。

春・秋、年2回の定期演奏会も昨年の秋で16回目を数えた。

現在、会員数は60人。会社員、自営業、公務員、大学生など、職業は種々雑多。年齢も19歳から50歳までと幅広い。練習は週2回、富士文化センターで行っているが、ほとんどの会員が参加しているという。

レパートリーも、クラシックからポピュラーまで幅広く、吹奏楽コンクールでは、県の代表として常時東海



地区大会に出場している。

指揮者は高校教諭の石川喬雄さん。

ホルン担当の勝山文夫さんは、「私たちが、地域吹奏楽の向上に少しでも役立てば…」と話していました。